

平成 2 7 年 6 月

# 伊東市議会 6 月定例会

## 一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

## 一 般 質 問 順 序

- 1 佐々木 清 君  
(6月18日(木) 10時～10時50分)
- 2 稲葉 富士憲 君  
(6月18日(木) 11時～11時50分)
- 3 楠田 一 男 君  
(6月18日(木) 13時～13時50分)
- 4 土屋 進 君  
(6月18日(木) 14時～14時50分)
- 5 四宮 和彦 君  
(6月18日(木) 15時～15時50分)
- 6 西島 彰 君  
(6月19日(金) 10時～10時50分)
- 7 横沢 勇 君  
(6月19日(金) 11時～11時50分)
- 8 稲葉 正 仁 君  
(6月19日(金) 13時～13時50分)
- 9 長沢 正 君  
(6月19日(金) 14時～14時50分)
- 10 杉本 一彦 君  
(6月19日(金) 15時～15時50分)
- 11 重岡 秀子 君  
(6月22日(月) 10時～10時50分)
- 12 森 篤 君  
(6月22日(月) 11時～11時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。



- 5 地震や津波などの自然災害から人命を守るための施策について以下2点伺う。
- (1) 多くの観光客が訪れる伊東マリンタウンからの避難路として、避難用陸橋の整備を検討してはいかがか。
  
  - (2) 玖須美児童館の耐震補強や移設について検討してはいかがか。
- 6 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックにおける自転車競技について、伊豆市での開催が計画されている旨報道されているが、選手やスタッフの受け入れ、誘客対策などについて、どのように考えているか伺う。
- 7 幼稚園及び保育園を含めた学校規模の適正化について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 富士憲

1 指定管理者制度における市の関与について、以下3点伺う。

- (1) 事故が発生した際の責任の所在
  
- (2) 指定管理者の業務に対する指導監督
  
- (3) 利用者の声を業務に反映させるための手だて

2 認知症対策について、以下3点伺う。

- (1) 要介護度の認定について、認知症の人は、介護等級が低く判定される旨の声を聞くが、どのようなことが考えられるか。
  
- (2) 介護保険制度以外の制度による認知症の人及びその介護者を支える施策について、現在、どのような施策を実施しているか、また、今後どのような施策を講じていく考えか。
  
- (3) 介護ボランティアの活動を支援する取り組みとして、その活動に応じて換金できるポイントを付与する旨の制度を導入できないか。

3 人口増加策として、若年層の流入を促すための子育て支援策及び教育振興策について、以下2点伺う。

(1) 以下の子育て支援策について、本市の現状及び今後拡充させる考えがあるか伺う。

ア 誕生祝金の支給

イ 医療費の補填

ウ 幼稚園、保育園に係る保育料の補填

エ 小・中学校における給食費の補填

(2) 英語教育に特化した教育振興策の実施に伴う課題等について伺う。



## 一 般 質 問 要 旨

議 員 土 屋 進

1 庁舎移転後20年が経過する中、旧庁舎跡地は、現在、暫定として松川藤の広場となっているが、まちの活力を取り戻すための重要な拠点であることから、伊東市庁舎跡地利用構想審議会の答申を踏まえ、隣接民有地の公有化を積極的に進めるとともに、老朽化が進み、耐震にも問題のある観光会館を文化的施設と位置づけた「文化会館」として早期に移転、改築すべきと考えるが、いかがか。

2 東松原にある庁舎別館について、以下2点伺う。

(1) 庁舎別館については将来的に用途廃止を考えているとのことだが、取り壊し等に係る今後の計画について伺う。また、館内にある東松原町連絡所の移転については地域と協議していくとのことだが、現在の状況を伺う。あわせて、これを機により利便性の高い出張所にすべきと考えるが、いかがか。

(2) 館内にある伊東温泉組合という市民活動支援センターP a l に対し、将来的に用途廃止を考えている旨を説明されているか。また、これらの事業所に対し、今後、どのような対応を考えているか伺う。

3 自然災害が及ぼす大きな被害等が想定され危機感も高まる中で、本市が進めている津波避難協力ビルの指定については、より迅速な対応が求められると考えるが、現在の進捗状況を伺う。

4 伊東駅を中心とする市街地の市道幹線道路において、未整備となっている伊東駅・伊東港線における伊東駅から松原神社下までの区間の舗装改良の状況について伺う。

5 伊豆半島ジオパークが世界認定されると、旧中伊豆バイパスから、荻、十足地区を通る道路を南部のジオサイトへのアクセス道路として利用する観光客が増加すると予想されるが、隣接する伊豆市等との連携による道路整備について伺う。

6 湯川分園が伊東幼稚園に統合されて1年が経過したが、当該建物と用地の利活用についてどのように考えているか伺う。

また、木下奎太郎記念館の近接地であることから、本市ならではの特徴のある郷土資料館の建設を検討すべきと考えるが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

1 本年は、徳川家康公の400回忌に当たり、家康公にゆかりのある各地において薨去400年を記念する行事が行われている。本市は、家康公の外交顧問として活躍した三浦按針ゆかりの地であり、このほかにも、江戸城石丁場遺跡や江戸城献上の湯等、家康公や江戸幕府とのかかわりを示す事跡が幾つか存在するにもかかわらず、本市においては、これに関連する事業が全く実施されないと思われる。

本市の歴史的文化面や観光面における情報発信の機会として考えれば、県内外で盛んに取り組まれている記念事業には今からでも積極的にかかわっていくべきと考えるが、いかがか。

2 この7月10日より、プレミアム商品券「ジオパーク応援 夢クーポン」の販売が開始されるとのことだが、過去に発行されたプレミアム商品券については、その事業目的や意図する経済効果等について、疑問があるとする旨の意見もあったと思われることから、以下3点伺う。

(1) 実行委員会の中で事業の詳細が詰められたと思うが、その事業目的、期待される効果はどのようなものか、特に、市内経済活性化への効果をどのように考えるか伺う。

(2) 同種の事業は過去に複数回実施されているが、その中で得られた成果や反省点はどのようなものであり、今回の事業実施に当たり、どのように生かしていくのか伺う。

(3) 「ジオパーク応援 夢クーポン」との名称であるが、具体的にどのような点が「ジオパーク応援」であるのか伺う。

3 生活路線バスのあり方と観光周遊バスのあり方について、以下2点伺う。

(1) 現在、市が自主運行する生活路線バスのうち、平均乗車密度が極端に低い一部路線については、今後、白バスその他の交通機関による代替を進めるとのことであったが、これまで、研究、検討に十分な期間が経過していることから、そろそろ実証実験が行われてもよい時期に来ているのではないか。

そこで、公共交通空白地帯に対する交通政策または交通弱者対策について、現在の進捗状況を伺う。

(2) 観光地である本市において、観光スポットを周遊する公共交通は非常に重要であると考えますが、以前運行していた伊東駅等を起点とする定期観光バスなどは、現在、運行していないように思われ、また、伊東駅と伊豆シャボテン公園間を往復していたリンガーベル号も見かけなくなりました。伊豆半島ジオパークの世界認定等も視野に入れると、今後、こうした観光周遊バスのニーズは高まっていくと考えるが、観光周遊バス実現の可能性について伺う。

また、このような状況を踏まえ、観光利用の観点から、今後、どのような交通政策が必要と考えるか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 西 島 彰

- 1 伊豆半島ジオパークの世界認定を目前に控え、その現況と今後の対応について、以下3点伺う。
  - (1) 中央拠点施設開設までのスケジュールと設計内容及び開設後の活用、並びに、本市のビジターセンターの現状及び今後の設置計画について
  - (2) ジオサイトにおける景観整備の一環として、大室山周辺における無電柱化の推進について
  - (3) ジオサイト周辺における高速無線通信W i - F i の整備状況と今後の対応について
  
- 2 本市のインバウンド施策における現状と今後の展望等について、以下4点伺う。
  - (1) 外国人来遊客数と国別順位について
  - (2) 案内サインや周遊マップにおける多言語対応について
  - (3) インターネットやSNSを活用した戦略について
  - (4) 本市における消費税免税店制度の許可店舗数及び支援策について

3 本市のふるさと納税について、以下6点伺う。

- (1) 平成26年度におけるふるさと納税の金額とこれまでの実績について
- (2) 伊東市民が他自治体に寄附しているふるさと納税の総額について
- (3) 使途指定の比率とその内容について
- (4) 伊東市民による伊東市へのふるさと納税は可能か。
- (5) 使途指定を重視した親孝行ふるさと納税を提案するが、市長の考えを伺う。
- (6) 特例控除額が拡充されたが、返礼品を送らないとするこれまでの見解を変える考えはないか。

4 空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行されたが、このことにより、本市の空き家、廃屋対策がどのように推進されていくのか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 横 沢 勇

1 小室3丁目付近への耐震性貯水槽設置の見通しについて伺う。

2 国道135号殿山交差点から三の原入口交差点までの区間は、県の事業において整備が進められているが、地元の関心が高いことから、特に、殿山交差点と川奈口交差点における交差点形状に係る整備計画の状況及び同区間における4車線化に係る進捗状況について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 正 仁

国の地方創生戦略に対する市としての施策について以下伺う。

1 伊東版まち・ひと・しごと総合戦略策定の進捗状況について伺う。

2 農業の担い手育成及び新規就農者への本市独自の支援策について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

1 公共施設管理計画について、どのようなものを策定するのか計画の概要を伺う。また、現在の進捗状況を伺う。

2 親子で楽しく遊ぶことができる充実した公園について、以下伺う。

(1) 小室山公園の整備状況について

(2) 都市公園及びその他の公園の管理状況について

3 犬・猫の飼育に係る取り組みについて、以下伺う。

(1) 愛護と適正管理に係る意識啓発について

(2) 不適切な飼育をしている人への指導体制について

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

### 1 住民投票について

- (1) 目まぐるしく変化する時代において、自治体運営にとって大きな政策転換が求められる際に、その方向性を決める手段の一つとして、住民投票は効果的であると考えますが、本市において住民投票条例を制定する考えはないか伺う。
  
- (2) 競輪事業を将来的に存続していくか否かは、本市の未来のまちづくりを考える上で非常に重要な要素であると考えますが、住民投票で市民に賛否を問う考えはないか伺う。

### 2 空き家・廃屋対策について

- (1) 全国で820万戸にも上る空き家の対策として、空き家対策特別措置法が施行されたが、それに伴い本市の空き家・廃屋対策をどのように進めていくか考えを伺う。
  
- (2) 特別措置法施行により、本市において早急に対応すべき案件はどのくらいあるか。また、それら案件の解決に向けた見通しについて伺う。

### 3 小・中学校のいじめ・不登校問題について

- (1) これまでも小・中学校における不登校児童・生徒数の現況数値を伺ってきたが、現在はどのような状況にあるのか伺う。
  
- (2) 伊東市教育大綱の策定により、本市におけるいじめ・不登校問題の解決をどのように図っていくのか方針を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 地方創生に関連し、少子化対策として以下2点伺う。
  - (1) 少子化問題の大きな原因の一つとして、若年層の低賃金問題があると考えているが、その点を踏まえ、雇用者数約180名と言われる本市臨時職員の賃金の実態を伺う。

また、臨時職員の賃金に対する対応策として正規雇用をふやすことが重要であると考えているが、当面の対応として、経験加算や月給制などの賃金体系へと見直す考えはないか伺う。
  - (2) 子育て支援の充実について、以下3点伺う。
    - ア 保育園の待機児童については、特にゼロから1歳児までが依然として増加傾向にあるが、その実態と対策を伺う。
    - イ 子ども・子育て支援新制度により学童保育に係る運営基準等が条例で定められることとなったが、待機児童問題や運営方法、指導員研修などの課題についてどのように解決していくのか伺う。
    - ウ 中学校給食の実施に向け、小・中学校8校での運用を想定した給食センターの建設計画が進んでいるが、おいしくて安全な給食を実現するためにどのような手だてを考えているか、特にアレルギー対策などに関し施設面からと栄養士などの人的配置の面から伺う。

また、地産地消や市内経済活性化の観点から、食材の発注先をどのように選定するのか伺う。
- 2 市内のコミュニティセンター及び生涯学習センターの9施設は、市民の自主的な活動の重要な地域の拠点である。平成28年度は5年ごとの指定管理委託の更新年であるが、消費税増税や原発事故以降の電気料金の値上げなどの状況を踏まえ、どのように委託料を算定するのか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 森 篤

1 第十次基本計画（人口ビジョン、地方版総合戦略を含む。）の策定に関し、以下3点伺います。

(1) 地域経済分析システム（RESAS）の本市における活用実態について

(2) コンサルタントに委託する前の素案の作成方法とその概要について

(3) 公募した市民の皆さんからの意見（パブリックコメント）の取り扱いについて

2 県事業による津波対策のための防潮堤建設構想に関し、以下3点伺います。

(1) 地元との協議に係るこれまでの経過と今後のスケジュールについて

(2) 市民の皆さんへの情報提供の実態について

(3) 防潮堤が建設される場合における本市による総合的な検証について

